

# 都政新報

発行所 都政新報社

〒160-0023 東京都新宿区  
西新宿7-23-1 TSビル

(総務・読者) 03-5330-8781

(企画広告) 03-5330-8784

(編集) 03-5330-8786

(制作) 03-5330-8786

(出版) 03-5330-8788

(ファクス) 03-5330-8808

購読料 月1,680円(税込)

毎週火・金曜日発行

ただし、祝日は休刊

©都政新報社 2011

## 号外

# 詳しくは12日付の都政新報で

## 都知事選開票

# 石原氏 当選 確実

## 東国原氏ら破り4選



当選確実となり、選挙事務所で笑顔を見せる石原氏＝10日午後9時すぎ

### 都知事選開票結果

(開票率1.79%＝午後9時30分現在、敬称略)

|                 |        |        |
|-----------------|--------|--------|
| <b>当確</b> 石原慎太郎 | 無現     | 49,592 |
| 東国原英夫           | 無新     | 27,789 |
| 渡邊美樹            | 無新     | 17,516 |
| 小池晃             | 無新(共推) | 13,240 |

〈他の7人は省略〉

投票率46.66%＝午後7時30分現在

10日に投開票された東京都知事選は、現職の石原慎太郎氏(78)が前宮崎県知事の東国原英夫氏(53)らを圧倒して4選を確実にした。石原氏は港区南青山の選挙事務所で「4選で何をやるかといったら、同じ事をやるしかないが、プラスアルファは災害対策。東京は日本のダイナミズムから、東京が混乱したら国も止まる。(被災地支援は)要望があれば何でもやる。できることはやる。言っていない事もやる」と語り、復旧・復興支援と東京の防災力強化に取り組み考えを改めて明らかにした。午後7時半現在の投票率は46.66%と前回よりも若干上回った。

告示直前に東日本大震災が起きた今回の都知事選では、防災対策や原発事故対策のあり方が大きな争点の一つとなり、石原都政3期12年に対する評価や石原氏への高齢・多選批判は影を薄める形となった。そうした中、石原氏は選挙期間中も震災対応の公務に専念し、放射性物質が検出された浄水場への視察や避難民を受け入れた施設への訪問、さらに宮城県の被災現場に入るなど、現職としての行動力・指導力を強く印象づけた。最終日には防災服姿で「東京は日本の心臓であり、頭脳。よく分からん人に渡すわけにいかない、委ねるわけにいかない」「もう一回、日本人同士がしっかりと肩を組まないと、この国は駄目になる」と訴えた。街頭遊説は、この日が初めて最後だったが、抜群の知名度に加え、自民、公明両党から実質的な支援を受けた石原氏は終始優位な戦いを繰り広げ、他に圧倒的な差をつけて4選を果たした。

これに対し、新顔は各陣営とも大震災の影響で自粛ムードが広がり、街頭演説を控えるなど「静かな選挙戦」となったため、現職との違いを鮮明にできずに苦戦。東国原氏は1期4年務めた宮崎県知事の実績と知名度で無党派層への浸透を狙い、終盤には五輪招致で反対姿勢を明確にするなど対決色を強めたが、及ばなかった。民主党から会派レベルでの支援を受けた渡邊美樹氏(51)は、都政への経営感覚の導入などを訴えてきたが、投票行動には結び付かなかった。共産党推薦の小池晃氏(50)は石原都政への批判票の取り込みを狙ったが、同党支持層を固めたものの支持は広がらなかった。